

事務事業名	スポーツ大会開催事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツ環境推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和34年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
市民		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	3,948	5,300	5,300
	人件費	5,211	6,914	6,914
目 的	総事業費	9,159	12,214	12,214
市民の体力向上及び競技力向上を図ります。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営・委託】		県支出金		0
		市債		0
		その他		1,261
		一般財源		4,039
		合 計		5,300
・大和市民総合スポーツ選手権大会、大和市駅伝競走大会、スポーツフェスタを開催します。				
・大和市民ゴルフ大会（年2回）、大和市民まつりスポーツイベントの開催を支援します。				

3. 活動内容

	活動指標 1	名称	大会等開催回数			単位	回	
		内容説明	主催・委託・支援した大会の回数					
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度		
			予 定	6	6	6		
			実 績	6	6	— — —		
成 果（効果・予測）		活動指標 2	名称	広報掲載回数			単位	回
・スポーツ人口を増加させるとともに市民の体力と競技力が向上します。			内容説明	大会の告知及び結果の掲載				
			指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
				予 定	5	5	5	
				実 績	5	5	— — —	
課 題		活動指標 3	名称				単位	
			内容説明					
			指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
				予 定				
				実 績			— — —	
・より多くの市民の参加を促すため、企画内容や周知の方法等について、継続的に検討を行う必要があります。		活動指標 4	名称				単位	
			内容説明					
			指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
				予 定				
				実 績			— — —	

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	・さらなるにぎわいの創出により、一層の参加者の増加につながるよう、企画内容を見直ししながら大会を開催し、スポーツへの関心を高めていきます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	

事務事業名	スポーツ教室開催事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツのまち推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標		地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果		スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和39年度				設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
市民			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）	
		事業費	5,434	7,007	7,655	
		人件費	751	1,538	1,538	
目 的		総事業費	6,185	8,545	9,193	
スポーツに関心を持ち、親しむ機会を提供します。		7年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金			0	
手段、手法【実施手法：委託】 各種団体が独自で取り組むことが難しい種目、また市の施策に発展的につながるスポーツ教室を開催します。		県支出金			0	
		市債			0	
		その他			0	
		一般財源			7,655	
		合 計			7,655	
3. 活動内容						
活動指標 1	名称	開催種目数			単位	種目
	内容説明	各教室で開催した種目数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	12	12	13	
		実 績	9	12	――	
活動指標 2	名称	開催延べ教室数			単位	教室
	内容説明	開催延べ教室数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	17	17	18	
		実 績	14	17	――	
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			――	
課 題						
・ 市民がスポーツに親しみと関心を持ち、生涯スポーツとして日常化する機会が提供できます。						
・ 日頃スポーツを「する」機会が少ない市民を中心に、様々な種目を体験できる場を提供するとともに、継続的にスポーツを続けられる環境を整える取り組みが必要です。						

4. 今後の方針等						
今後の方針等	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	・運動機会が得にくい子育て世代、働く世代にも広く参加してもらえるよう設備や開催日程に配慮します。 ・委託先であるスポーツ・よか・みどり財団が中心となり、スポーツ教室での体験から、スポーツ・よか・みどり財団の自主事業や総合型地域スポーツクラブ等で、継続的にスポーツを楽しむことができる環境を整えます。 ・市民の関心が高い種目を選定するとともに、告知方法等の見直しを検討し、情報を広く市民に届け、定員に満たない事業の参加者数増加に努めます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	子育て世代、働く世代、障がいの有無にかかわらず、すべての市民が気軽に生涯にわたってスポーツを行いやすい環境を整える必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	定員に満たない教室があるため、告知媒体を増やし、イベント情報を広く提供するほか、内容の見直しや申込方法の簡素化等を図り、参加者が増えるよう努める必要があります。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	委託事業としており、効果的かつ効率的に事業を実施しています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	市民の誰もがスポーツに取り組む機会を提供することを目的としていることから、参加料は、無料が適当と考えます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	すべての市民が参加しやすいよう各種広報手段を有効に活用し、多くの参加者を得られるように情報提供を行っています。

事務事業名	スポーツ関係団体支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツのまち推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち			
	個別目標		地域のスポーツ活動を推進する			
	めざす成果		スポーツを楽しむ人が増えている			
根拠法令	名 称	スポーツ基本法				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無				
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間	
	昭和27年度				設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費			(単位：千円)
大和市社会体育関係団体			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
		事業費	3,901	4,110	4,342
		人件費	5,165	5,355	5,355
目 的		総事業費	9,066	9,465	9,697
市民の体力向上、スポーツ精神の養成、青少年の健全育成等を図ります。		7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0	
		県支出金		0	
		市債		0	
		その他		0	
		一般財源		4,342	
		合 計		4,342	
手段、手法【実施手法：直営】					
大和市社会体育関係団体補助金交付要綱により大和市地区体育振興会、大和市スポーツ協会、大和市スポーツ少年団本部、大和市レクリエーション協会、大和市軽ス					

活動指標1	名称	スポーツ少年団本部登録団体数			単位	団体
	内容説明	スポーツ少年団本部への総登録団体数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	13	13	14	
		実 績	13	14	――	
活動指標2	名称	スポーツ協会加盟団体数			単位	団体
	内容説明	大和市スポーツ協会への各種目加盟団体総数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	24	24	24	
		実 績	24	24	――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	・多くの市民がスポーツに親しむことができるよう、引き続き関係団体の活動を支援していきます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	スポーツ活動へのニーズが多様化していることから、市民に様々なスポーツに親しむきっかけを提供していくため、市が社会体育団体の活動支援を行う。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	各団体が効率的に事業を実施しており、成果が上がっております。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	限られた事業費の中で効率的に執行されており、経費は適正な水準です。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	本市のスポーツ推進及び活性化を目的とした事業であり、各団体に助力いただく立場にあることから、負担の適正化を求めるものではありません。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	事業費を適切に活用し、様々な広報媒体を利用しつつ、情報の周知拡大を行っていくとともに、多くの市民のスポーツへの関心を高められるよう関係団体と協力していきます。

事務事業名	ゆとりの森スポーツ施設管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツ環境推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	平成19年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
ゆとりの森スポーツ施設（芝生グラウンド・テニスコート・中規模・大規模・スポーツハウス）		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	33,535	51,902	65,601
	人件費	3,755	2,307	2,307
目 的	総事業費	37,290	54,209	67,908
ゆとりの森スポーツ施設を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
手段、手法【実施手法：指定管理】 施設の維持管理及び運営を指定管理により実施します。			国支出金	0
			県支出金	0
			市債	0
			その他	0
			一般財源	65,601
			合 計	65,601

3. 活動内容

活動指標1	名称	利用可能日数			単位	日
	内容説明	施設の利用可能日数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	356	352	351	
		実 績	353	352	―――	
活動指標2	名称	利用者数			単位	人
	内容説明	施設の利用者数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	130,000	135,000	135,000	
		実 績	135,898	135,910	―――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	・施設の一部に経年劣化が見られることから、部分補修などを通じて良質な利用環境の維持に努めます。 ・中規模多目的スポーツ広場については、人工芝の損傷が激しいことから、リースによる張替改修を行います。 ・芝生グラウンドについては、引き続き適切なタイミングでエアレーションや除草作業等を実施し、良好な利用環境の維持に努めます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	

事務事業名	大和スタジアム・つきみ野野球場・宮久保野球場施設管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツ環境推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標		地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果		スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和45年度				設定無し

2. 事務事業の概要							
対 象		総事業費 (単位：千円)					
大和スタジアム・つきみ野野球場・宮久保野球場			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）		
		事業費	63,047	63,047	64,024		
		人件費	1,502	769	1,538		
目 的		総事業費	64,549	63,816	65,562		
野球場施設を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。		7年度事業費（予算額）財源内訳					
		国支出金			0		
手段、手法【実施手法：委託・指定管理】		県支出金			0		
		市債			0		
		その他			648		
		一般財源			63,376		
		合 計			64,024		
野球場施設の維持管理及び運営を指定管理により実施します。		3. 活動内容					
		活動指標 1	名称	利用者数	単位	人	
			内容説明	3施設年間利用総人数			
			指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
				予 定	110,000	110,000	110,000
実 績	113,889	106,059	— — —				
成 果（効果・予測）		活動指標 2	名称	利用可能日数	単位	日	
・市民が良好な環境の中で施設を利用できます。	内容説明		利用可能日数（大和スタジアム）				
	指標値			5年度	6年度（当該年度）	7年度	
			予 定	309	307	309	
	実 績	311	313	— — —			
課 題		活動指標 3	名称		単位		
			内容説明				
			指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
				予 定			
		実 績			— — —		
・良好な施設環境保持のため、計画的な維持補修が必要です。	活動指標 4	名称		単位			
		内容説明					
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
			予 定				
実 績			— — —				

4. 今後の方針等						
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	・3施設ともに経年による老朽化が進んでいるため、維持補修及び改修が必要な個所として指定管理者からリストアップされる内容について、緊急性を考慮し、また公共施設保全計画とも足並みをそろえながら計画的かつ効率的な維持管理を進めていきます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	

事務事業名	地域スポーツ推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツのまち推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち	
	個別目標		地域のスポーツ活動を推進する	
	めざす成果		スポーツを楽しむ人が増えている	
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	平成25年度			
				設定無し

2. 事務事業の概要							
対 象		総事業費 (単位：千円)					
市民		5年度（決算額）		6年度（決算額）		7年度（予算額）	
	事業費	6,476		7,804		7,493	
	人件費	6,008		7,690		7,690	
目 的	総事業費	12,484		15,494		15,183	
市民が主体的にスポーツに取り組み、世代を超えた交流が促進されるよう、地域スポーツの推進を図ります。		7年度事業費（予算額）財源内訳					
		国支出金		0			
		県支出金		0			
		市債		0			
		その他		1,000			
		一般財源		6,493			
		合 計		7,493			
3. 活動内容							
活動指標 1	名称	総合型地域スポーツクラブ設置数				単位	団体
	内容説明	総合型地域スポーツクラブの設置数					
	指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度	
		予 定	3		3		3
	実 績	3		3		— — —	
活動指標 2	名称	「夢の教室」実施クラス数				単位	クラス
	内容説明	「夢の教室」を実施したクラス数					
	指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度	
		予 定	62		68		64
	実 績	60		67		— — —	
活動指標 3	名称	出前講座「スポーツだいすき！」実施回数				単位	回
	内容説明	出前講座「スポーツだいすき！」を実施した回数					
	指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度	
		予 定	15		15		15
	実 績	14		18		— — —	
活動指標 4	名称					単位	
	内容説明						
	指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度	
		予 定					
	実 績					— — —	
課 題							
・「する」「みる」「ささえる」といったスポーツへの関わりを促せるように、スポーツ情報等の発信やイベントの実施手法を継続的に調査研究する必要があります。							

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	スポーツや講義を通じて青少年の健全な育成を目的とする「夢の教室」、話題性の高い種目を積極的に誘致し、市民のスポーツへの関心を高めることを目的とする「トップスポーツ観戦デー」を通じて、多くの市民にスポーツを「する」「みる」機会を提供するためには、市の積極的な関与が必要となります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	イベント・教室の実施及び周知等を通じ、スポーツへの関心が低い方にも、主体的にスポーツに取り組む環境を整える、取り組みを進めていくことが必要です。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	限られた予算の中で、効率的に執行をしております。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	様々な年代を対象とした複数の事業を通じて、幅広い市民を対象とする事業を実施することで、受益の公平性が図られています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	広報やまと等様々な広報媒体を活用することで、より多くの市民へ情報提供を行っています。

事務事業名	女子サッカー推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツのまち推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標		地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果		スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成24年度				設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象		総事業費（単位：千円）			
市民			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
		事業費	5,094	5,422	4,860
		人件費	2,253	3,845	3,845
目 的		総事業費	7,347	9,267	8,705
地域スポーツの推進を図るため、女子サッカーに取り組む市民の活動を支えます。		7年度事業費（予算額）財源内訳			
			国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営・委託】	・「大和なでしこカップ」等、女子サッカーに関するイベントを開催します。 ・ホームタウンチーム「大和シルフィード」の活動を通じたシティセールスを展開するための支援を行います。 ・女子サッカーの環境整備を行うための調査、研究を行います。		県支出金		0
			市債		0
			その他		0
			一般財源		4,860
			合 計		4,860
		3. 活動内容			
成 果（効果・予測）	・女子サッカー人口の増加とともに、女子サッカーに対する市民意識が高まります。 ・多くの事業を実施し、多くの少女たちにサッカーやスポーツの楽しさを伝えています。	活動指標1	名称	女子サッカー関連イベント回数	単位 回
			内容説明	女子サッカー関連イベントの実施回数	
			指標値	5年度	6年度（当該年度）
				予 定	30
				実 績	29
課 題	・女子サッカーへの関心が一時的なものとならないよう継続的な取り組み、支援が必要となります。	活動指標2	名称	女子サッカー関連イベントの参加者数	単位 人
			内容説明	女子サッカー関連イベントの参加者数	
			指標値	5年度	6年度（当該年度）
				予 定	7,000
				実 績	7,511
		活動指標3	名称	「大和シルフィード」ホームゲーム平均来場者数	単位 人
			内容説明	「大和シルフィード」ホームゲーム平均来場者数	
			指標値	5年度	6年度（当該年度）
				予 定	700
				実 績	445.7
		活動指標4	名称		単位
			内容説明		
			指標値	5年度	6年度（当該年度）
				予 定	
				実 績	

4. 今後の方針等						
今後の方針等	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	・ 女子サッカー人口の裾野を広げるために、「大和なでしこカップ」の開催や女性を対象とした体験会を継続的に開催し、女子サッカー事業の取り組みを定着させるとともに、女子サッカーに関する講演会等を行い「女子サッカーのまち大和」のさらなる認知拡大を図ります。					
	・ 「女子サッカーのまち大和」の実現のため、他課との連携を図り、ホームタウンチーム「大和シルフィード」を活用するとともにプロ化に向けて継続的な支援を行います。					
	・ 女子サッカー事業の成果を検証するとともに、「女子サッカーのまち大和」の将来的なビジョンについて検討していきます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	女子サッカーのまちを目指す上で、市が積極的に関与する必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	市で唯一ホームタウンチームに認定されている「大和シルフィード」が、女子プロサッカーリーグであるWEリーグ参入を目指しています。 市をホームタウンとする横浜F・マリノスとの連携を図り、シティセールスの向上やさらなる認知拡大のために、さらなる支援を検討します。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	女子サッカー関連事業は、最低限かつ多くのボランティアスタッフに支えられて実施しており、経費は適正に執行されています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	女子サッカー関連事業は「する」「みる」「ささえる」「つながる」を含めたスポーツに関わる多くの市民を主体としており、受益の公平性は図られています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	市内外に対して、様々な媒体を用いて広く情報発信を行いながら、「大和シルフィード」の活動を通じて、地域の活性化を図ります。

事務事業名	スポーツ大会選手派遣事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツ環境推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和27年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
大和市代表選手		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	172	172	172
	人件費	751	769	769
目 的	総事業費	923	941	941
各種大会に選手を派遣し、本市代表選手の競技力向上を図るとともに、他市との親善及び選手間の交流を推進します。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・かながわ駅伝競走大会に本市代表選手を選出し、派遣します。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		172
		合 計		172

3. 活動内容

活動指標1	名称	派遣選手数		単位	人
	内容説明	各種大会への選手派遣数			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	12	12	12
		実 績	12	12	――
活動指標2	名称	派遣役員数		単位	人
	内容説明	各種大会の役員派遣数			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	10	10	10
		実 績	10	10	――
活動指標3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			――

課 題	・代表選手の選出において、市の協会に登録しない選手の情報を把握することが課題となっています。			
------	--	--	--	--

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	・引き続き大和市代表選手の競技力向上に係る支援を行っていきます。					

事務事業名	スポーツ活動奨励事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツのまち推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち			
	個別目標		地域のスポーツ活動を推進する			
	めざす成果		スポーツを楽しむ人が増えている			
根拠法令	名 称	スポーツ基本法				
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有				
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間	
	昭和37年度				設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
全国大会及び国際大会に出場する市内在住の個人・団体		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	636	688	777
	人件費	751	1,538	1,538
目 的	総事業費	1,387	2,226	2,315
競技力の高い者に奨励金を支給し、その活動を奨励します。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金			0
手段、手法【実施手法：直営】 ・全国大会及び国際大会に出場した個人・団体に奨励金を支給します。	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			777
	合 計			777

3. 活動内容

活動指標1	名称	教育委員会表彰候補者選考会の開催数			単位	回
	内容説明	スポーツ振興の為、被表彰候補者を選考します。				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	3	3	3	
		実 績	3	3	――	
活動指標2	名称	奨励金交付件数（個人・団体）			単位	件
	内容説明	一定以上の成績を収めた選手等へ奨励金を交付した件数です。				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	70	70	84	
		実 績	78	87	――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	・国内外を問わず、また、メジャースポーツ、マイナースポーツ、ニュースポーツなど、競技種目の多様化や各競技大会の規模の違いにも目を向けながら、引き続き交付基準の見直しに関して必要な情報を収集し調査・研究を進め、スポーツ活動の奨励を目的に広く支援を進めていきます。					

事務事業名	スポーツ施策管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツのまち推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち			
	個別目標		地域のスポーツ活動を推進する			
	めざす成果		スポーツを楽しむ人が増えている			
根拠法令	名 称	スポーツ基本法				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無				
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間	
	昭和34年度				設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費			(単位：千円)
スポーツ推進に関連する施策		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	160	231	321
	人件費	3,004	3,076	3,076
目 的	総事業費	3,164	3,307	3,397
スポーツ推進審議会の審議を通じて、スポーツ推進施策の適正かつ効率的な実施を図ります。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		321
手段、手法【実施手法：直営】	合 計			321
	・市内関係団体役員や市民を委員に委嘱し、必要な議案等を審議します。			

活動指標1	名称	スポーツ推進審議会開催回数			単位	回
	内容説明	スポーツ推進審議会の開催回数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	5	5	5	
		実 績	3	5	――	
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	・指定管理者の評価、スポーツ推進施策の進行管理に加え、条例改正に係る審議を行い、適正な施策等の検討を行います。					

事務事業名	学校施設スポーツ開放事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツ環境推進係	福土 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち	
	個別目標		地域のスポーツ活動を推進する	
	めざす成果		スポーツを楽しむ人が増えている	
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和51年度			設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
市内在住、在学又は在勤が2分の1以上を占める10名以上の団体			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）	
		事業費	28,757	29,399	7,967	
		人件費	7,123	9,228	7,690	
目 的		総事業費	35,880	38,627	15,657	
学校施設を利用してスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供します。		7年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		3,868		
		一般財源		4,099		
		合 計		7,967		
3. 活動内容						
活動指標1	名称	校庭開放延件数			単位	件
	内容説明	小・中学校すべての校庭開放の延べ件数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	3,000	3,000	3,000	
		実 績	3,341	3,429	――	
活動指標2	名称	体育館・武道場開放延件数			単位	件
	内容説明	小・中学校すべての体育館・武道場開放の延べ件数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	10,000	10,000	10,000	
		実 績	10,762	10,871	――	
活動指標3	名称	プール開放延日数			単位	日
	内容説明	小学校のすべてのプール開放の延べ日数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	68	48	0	
		実 績	56	48	――	
活動指標4	名称	登録団体数			単位	団体
	内容説明	小・中学校の開放利用登録団体数（夜間開放を除く）				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	430	430	430	
		実 績	362	371	――	
成 果（効果・予測）						
・小・中学校体育施設の開放により、身近な場所でスポーツを楽しむことができます。						
課 題						
・校庭や体育館などの施設利用率が高くなっているため施設ごとの稼働率を考慮した利用方法等の検討を行っていく必要があります。						
・本事業の利用団体登録や校庭・体育館の利用申請等の在り方について、今後より良い方法を検討していく必要があります。						

4. 今後の方針等					
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度 II：見直しのうえで継続
	・各地域（学校開放地区）の課題・問題に関しては、学校開放事業実施委員会連絡協議会で情報を共有し、様々な事例を参考に解決を図ります。また各地区学校開放事業実施委員会と連携して、効率的に事業の運営を行います。 ・学校施設プール開放事業につきましては、市内小学校プールが段階的に減少する中継続しておりましたが、昨今の酷暑による熱中症のリスク、来場者の減少及び委託費の高騰など、市域にいる対象者全体に対する公平性や費用対効果を含めて事業の継続性について検討し、当該事業を廃止いたします。				

事務事業名	スポーツセンター施設管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツ環境推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和61年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位：千円)		
市民、大和スポーツセンター体育会館・競技場		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）			
	事業費	212,324	216,115	196,664			
	人件費	1,866	1,538	7,690			
目 的	総事業費	214,190	217,653	204,354			
大和スポーツセンター施設の管理運営を行い、良好なスポーツ施設環境を提供します。	7年度事業費（予算額）財源内訳						
	国支出金		0				
	県支出金		0				
	市債		0				
	その他		7,837				
	一般財源		188,827				
手段、手法【実施手法：委託・指定管理】	合 計		196,664				
	3. 活動内容						
	活動指標 1	名称	開場日数	単位	日		
		内容説明	スポーツセンターの年間開場日数				
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
予 定			348	347	347		
実 績			348	347	— — —		
成 果（効果・予測）	・市民が良好な環境の中で施設を利用できます。						
活動指標 2	名称	利用者数	単位	人			
	内容説明	スポーツセンターの年間利用者総数					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度		
		予 定	400,000	400,000	400,000		
		実 績	367,171	387,016	— — —		
活動指標 3	名称		単位				
	内容説明						
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度		
		予 定					
		実 績			— — —		
課 題	・利用者数の増加に向け、効率的に運営していくことが必要です。また、施設が全般的に老朽化しており計画的な改修が必要な状況となっていることに加え、スポーツ競技用の備品の老朽化が進んでいるため、計画的な更新が必要です。						
活動指標 4	名称		単位				
	内容説明						
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度		
		予 定					
		実 績			— — —		

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	・老朽化が進んでいる施設の適切な維持管理、また、計画的な修繕を指定管理者と連携して行うことにより、施設利用者が安全・快適に施設を利用できるよう、環境整備を進めます。					

事務事業名	野球場（下福田）施設管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツ環境推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち			
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する			
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている			
根拠法令	名 称	スポーツ基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和45年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
下福田野球場		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	8,005	8,005	7,959
	人件費	1,115	769	1,538
目 的	総事業費	9,120	8,774	9,497
野球場施設を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		20
		一般財源		7,939
		合 計		7,959
手段、手法【実施手法：指定管理】				
・下福田野球場の維持管理及び運営を指定管理により実施します。				

3. 活動内容

	活動指標 1	名称	利用者数			単位	人	
		内容説明	野球場施設年間利用総人数					
		指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度	
			予 定	15, 000	15, 000	12, 000		
			実 績	12, 124	2, 901	— — —		
成 果（効果・予測）								
・ 市民が良好な環境の中で野球場施設を利用できます。		活動指標 2	名称	利用可能日数			単位	日
			内容説明	年間利用可能日数				
			指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
				予 定	295	296	297	
				実 績	295	85	— — —	
課 題	活動指標 3	名称				単位		
		内容説明						
		指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度	
			予 定					
			実 績			— — —		
・ 良好な施設環境保持のため計画的な維持補修が必要です。	活動指標 4	名称				単位		
		内容説明						
		指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度	
			予 定					
			実 績			— — —		

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	・計画的な維持補修等を行うなど、指定管理者と連携して野球場施設の適正な管理運営を行うことで市民サービスの向上を図っていきます。 ・継続的に野球場として活用できるよう、施設（土地）所有者の意向について確認し、土地の取得について引き続き検討していきます。					

事務事業名	庭球場施設管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツ環境推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち			
	個別目標		地域のスポーツ活動を推進する			
	めざす成果		スポーツを楽しむ人が増えている			
根拠法令	名 称	スポーツ基本法				
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有				
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間	
	昭和54年度				設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
草柳庭球場・渋谷西庭球場		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	2,977	3,361	3,149
	人件費	1,115	769	1,538
目 的	総事業費	4,092	4,130	4,687
庭球場を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営・指定管理】 ・草柳庭球場の維持管理及び運営は指定管理により実施します。 ・また、渋谷西庭球場の維持管理及び運営は地元団体により実施します。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		3,149
		合 計		3,149

3. 活動内容

活動指標1	名称	利用可能日数（草柳庭球場）			単位	日
	内容説明	草柳庭球場の年間利用可能日数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	360	359	359	
		実 績	360	358	――	
活動指標2	名称	利用者数			単位	人
	内容説明	草柳・渋谷西の2施設の年間利用者数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	60,000	60,000	60,000	
		実 績	54,037	54,093	――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	・草柳庭球場については、指定管理者と連携して施設の適正な管理運営を行い、引き続き利用環境の向上に努めます。 ・渋谷西庭球場については、特に老朽化による修繕箇所の把握に努め、必要に応じて修繕を行い、利用環境の向上に努めます。					

事務事業名	スポーツ指導者育成支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツのまち推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標		地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果		スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和37年度				設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象		総事業費（単位：千円）		
交付先：大和市スポーツ推進委員連絡協議会 大和市スポーツ推進委員、大和市社会体育振興委員			5年度（決算額）	6年度（決算額）
		事業費	4,965	5,322
		人件費	3,004	3,076
目 的		総事業費	7,969	8,398
スポーツ推進委員及び社会体育振興委員等、スポーツの普及に必要な指導者を育成します。		7年度事業費（予算額）財源内訳		
		国支出金		0
		県支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 ・スポーツ推進委員などを各種大会・研修会に派遣し、指導能力を高め、地域スポーツ活動を活性化させていただきます。 ・大和市社会体育関係団体補助金交付要綱により、大和市スポーツ推進委員連絡協議会に補助金を交付し、団体の活動を支援します。		市債		0
		その他		0
		一般財源		5,432
		合 計		5,432

3. 活動内容				
活動指標1	名称	定例会回数		単位 回
	内容説明	全体定例会議の実施回数		
	指標値		5年度	6年度（当該年度）
		予 定	5	5
		実 績	5	――
活動指標2	名称	各部会回数		単位 回
	内容説明	4 専門部会及びフェスタ実行委員会の実施回数		
	指標値		5年度	6年度（当該年度）
		予 定	25	25
		実 績	27	25
活動指標3	名称			単位
	内容説明			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）
		予 定		
		実 績		――
活動指標4	名称			単位
	内容説明			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）
		予 定		
		実 績		――

4. 今後の方針等				
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続
	6年度 I：現状のまま継続 ・スポーツ推進委員、社会体育振興委員の活動支援を通じて、市民がスポーツにふれあう場や機会を創出し、市民の体力向上と健康増進、さらには地域コミュニティの醸成を図ります。			

事務事業名	スポーツ広場管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツ環境推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和54年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
桜森スポーツ広場・下福田スポーツ広場・南林間スポーツ広場・深見歴史の森スポーツ広場		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	27,034	27,517	27,518
	人件費	1,502	769	1,538
目 的	総事業費	28,536	28,286	29,056
スポーツ広場を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：委託・指定管理】 ・桜森スポーツ広場、下福田スポーツ広場の維持管理及び運営を指定管理により実施します。また、南林間スポーツ広場、深見歴史の森スポーツ広場の維持管理及び運営は（公財）大和市スポーツ・よか・みどり財団への委託により行います。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		27,518
		合 計		27,518

3. 活動内容

活動指標1	名称	利用可能日数（桜森・下福田スポーツ広場）			単位	日
	内容説明	年間の利用可能日数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	360	359	359	
		実 績	360	359	――	
活動指標2	名称	利用者数（桜森スポーツ広場、下福田スポーツ広場）			単位	人
	内容説明	2施設の合計の利用者数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	35,000	35,000	35,000	
		実 績	32,230	34,229	――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	・指定管理者と連携し、施設利用者が安全・快適に施設を利用できるよう、利用環境の向上に努めます。					

事務事業名	宮久保スポーツ広場管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツ推環境進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	平成20年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
宮久保スポーツ広場		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	5,508	5,508	5,511
	人件費	1,502	769	1,538
目 的	総事業費	7,010	6,277	7,049
スポーツ広場を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：指定管理】 ・宮久保スポーツ広場の施設の維持管理及び運営を指定管理により実施します。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		5,511
		合 計		5,511

3. 活動内容

	活動指標 1	名称	利用可能日数			単位	日	
		内容説明	宮久保スポーツ広場の年間利用可能日数					
		指標値	5年度		6年度（当該年度）	7年度		
			予 定	309	307	307		
			実 績	309	307	－ － －		
成 果（効果・予測）								
・ 市民が良好な環境の中で施設を利用できます。		活動指標 2	名称	利用者数			単位	人
			内容説明	宮久保スポーツ広場の年間利用者数				
			指標値	5年度		6年度（当該年度）	7年度	
				予 定	14, 000	14, 000	14, 000	
				実 績	16, 637	15, 705	－ － －	
課 題	活動指標 3	名称				単位		
		内容説明						
		指標値	5年度		6年度（当該年度）	7年度		
			予 定					
			実 績			－ － －		
・ 利用者による騒音や駐車場の問題等、地域の中にあるスポーツ広場として近隣住民への配慮が必要です。	活動指標 4	名称				単位		
		内容説明						
		指標値	5年度		6年度（当該年度）	7年度		
			予 定					
			実 績			－ － －		

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	・必要に応じて適切な補修を実施するなど、周辺環境に配慮した施設整備を実施します。また、指定管理者と連携して一層の市民サービスの向上を図ります。					

事務事業名	スポーツセンター施設大規模改修事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツ環境推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
		令和06年度		設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位：千円)
市民・利用者		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）	
	事業費	35,224	125,340		0
	人件費	8,602	8,459		0
目 的	総事業費	43,826	133,799		0
施設の適正な機能水準を維持し、安全で快適なスポーツ環境を整えます。	7年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金			0
		県支出金			0
		市債			0
		その他			0
		一般財源			0
		合 計			0
手段、手法【実施手法：直営】					
大和スポーツセンターにおいて、施設の老朽化などによる支障箇所を改修・補修します。					

3. 活動内容

活動指標1	名称	工期内工事等の完了件数			単位	件
	内容説明	予定した工期内に工事や委託業務が完了した件数				
	指標値	予 定	5年度	6年度（当該年度）	7年度	
			2	2	0	
		実 績	2	2	――	
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	予 定	5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		実 績			――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	予 定	5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		実 績			――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	予 定	5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	－	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	スポーツセンター施設は全体的に老朽化しており、大規模改修を要する案件が複数あることから、計画的に改修を進め、良好な環境維持に努めていきます。					